

## ◆ 2004年 第8週 ( 2/16~2/22 )の感染症発生動向

- 全数把握感染症の発生状況
  - 1~4類感染症 : 0件
  - 5類感染症 : 0件
- 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による
  - インフルエンザの報告—今シーズン初めて減少

2004年第8週の感染症発生動向調査による報告患者総数は1458人で、前週(1783人)比81.8%となった。  
 インフルエンザの報告が今シーズン初めて減少に転じた。全地区で減少したが、第6週以降3週連続で例年より多くの報告が見られており、高松地区は2週連続で流行警報地区に、その他4地区も引き続き流行注意地区となっている。  
 感染性胃腸炎(ウイルス)は横ばいである。中讃・西讃地区からの報告が多い。  
 水痘の報告は増加した。小豆地区で大きく増加し、同地区は流行注意地区となった。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎もやや増加した。小豆・中讃地区からの報告がやや多い。  
 突発性発しんは減少した。小豆地区以外で散発しており、小豆地区からの報告は今年まだ見られない。

## ◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① インフルエンザ	18.5人	25.8人	71.9%	16.8人	10.1人	高松⇨ 西讃⇨ 中讃⇨
② 感染性胃腸炎(ウイルス)	10.8人	10.2人	106.5%	11.2人	7.8人	中讃⇨ 西讃⇨ 小豆⇨
③ 水痘	2.3人	1.9人	121.3%	2.0人	2.4人	小豆⇨ 高松→ 東讃⇨
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.9人	0.8人	112.0%	0.6人	0.7人	小豆⇨ 中讃→ 高松→
⑤ 突発性発しん	0.5人	0.6人	89.5%	0.6人	0.7人	高松→ 西讃→

## ◆ 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
C.jejuni	2	糞便	2/10、2/14	小豆、高松市	急性胃腸炎
S.aureus	1	糞便	2/13	高松市	記載なし

  

ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
インフルエンザ A 香港型	61	咽頭	2/6~2/12	高松市・中讃(坂出)・西讃・東讃	インフルエンザ疾患(60)・上気道炎

## ◆ 定点医療機関からのコメント

- 県立中央病院(高松市): インフルエンザ A 発症
- 高松市民病院(高松市): インフルエンザ A 型
- 西岡医院(高松市): インフルエンザラピッドテスト FLUAB A 型 47 名 B 型 3 名、インフルエンザエスプライン AB A2 名
- 三好医院(東かがわ市): インフルエンザラピッドビュー-A/B 27 名、エスプライン A 型 8 名
- 県立津田病院(さぬき市): インフルエンザほとんど終息
- 香川大学医学部附属病院(三木町): インフルエンザ全て A 型(小児科)
- 松原病院(三木町): エスプラインインフルエンザ A & B-N A 型 23 名
- 坂出市立病院(坂出市): 10 歳女カンピロバクター、インフルエンザ A 型 15 名
- 聖マルチン病院(坂出市): インフルエンザ 1 歳 6 ヶ月 B 型 1 名
- いけうち小児科医院(宇多津町): インフルエンザ全て A 型
- 麻田総合病院(丸亀市): インフルエンザ A 型のみ
- もりもとこどもクリニック(丸亀市): インフルエンザ全て A 型
- 国立善通寺病院(善通寺市): 病原性大腸菌 O-29 1 件、インフルエンザ A 型 9 件
- 小国医院(満濃町): エスプラインインフルエンザ A & B A(+ ) 22 名

## ◆ 気象通報

第8週の平均気温 : 9.2°C(過去の30年の平均気温 : 5.8°C)  
 第8週の平均湿度 : 55.7%

